様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	光塩学園女子短期大学
設置者名	学校法人光塩学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	食物栄養科	夜・通信			20	20	7	
	保育科	夜・通信			21	21	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku6.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	光塩学園女子短期大学
設置者名	学校法人光塩学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kifu02.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	弁護士	2021.9.21 ～2023.9.8	コンプライアンス
非常勤	公認会計士	2021.9.9 ～2023.9.8	財務・経営
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	光塩学園女子短期大学
設置者名	学校法人光塩学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

文部科学省、厚生労働省の方針に基づき、本学においてシラバス作成方針を決定。
作成方針に則り作成し公表している。

１授業の計画の作成過程

(1)授業担当者に作成見本・様式を添えて作成を依頼する。

(2)提出されたシラバス原稿（データまたは手書き）を学生支援部でフォームに入力後、教務部教員が確認し、学生支援部から業者に依頼する。

(3)校正原稿を授業担当者が確認後、教務部教員が加筆修正をチェックし、入稿・印刷。

２授業計画の作成・公表時期

作成：公表年の１月～3 月

公表：ホームページ掲載、
冊子「キャンパスガイド・シラバス」を学生、教職員へ配布

授業計画書の公表方法	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku4.pdf

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

シラバスに記載された成績評価の方法（定期試験、実技試験、レポート、提出物、作品、発表等）を用い、到達目標に示した内容を達成できたか否かを評価方法に示す割合に基づき厳格かつ適正に評価し、学則に示す単位授与の条項に則り、単位を認定している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

客観的な指標としてＧＰＡを設定している。

ＧＰＡは、個々の授業科目について成績評価にそれぞれ GP を与え、各授業科目の　ＧＰ×単位数の和を総単位数　で除して算出ししたもの。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{(\text{A 科目の GP×単位数}) + (\text{B 科目の GP×単位数})}{\text{総単位数}}$$

100 点方式による評価	90 点以上 100 点まで	80 点以上 89 点まで	70 点以上 79 点まで	60 点以上 69 点まで	60 点未満
ＧＰ	4	3	2	1	0

客観的な指標の算出方法の公表方法	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku8.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学の建学の精神に基づき教育目標を設定し、その教育目標に基づいてカリキュラムを設定している。本学のカリキュラムにおいて、卒業要件科目の到達目標に達して卒業単位を修得した者に卒業を認定している。

本学を卒業するためには、2 年以上在学し、卒業要件単位の必修科目を含め、基礎科目 12 単位以上、専門科目 50 単位以上の合計 62 単位以上の修得が必要である。

卒業の認定に関する方針の公表方法	http://tandai.koen.ac.jp/guidance/history.html http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku8.pdf

様式第２号の４－①【(4)財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	光塩学園女子短期大学
設置者名	学校法人光塩学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kessan3_r02.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kessan1_r02.pdf
財産目録	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kessan4_r02.pdf
事業報告書	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/jigyo2_r02.pdf
監事による監査報告（書）	http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kessan5_r02.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/hyoka_2021.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：
https://www.jaca.or.jp/jaca_cms/wp-content/uploads/2023/03/R4_Koen_Gakuen_Womens_C.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　光塩学園女子短期大学
教育研究上の目的（公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/guidance/history.html）
（概要） 本学の建学の精神「光と塩」に基づいて設定されている。わが国は科学技術の発展に伴って社会の複雑化、情報化、国際化が著しく、高度な知識と技術を修めた専門職業人の養成が求められている。本学の食物栄養科、保育科は専門的知識、技能、実践力を備え、心豊かにして、社会の発展に貢献し得る人材の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/guidance/history.html）
（概要） 本学のカリキュラムにおいて、卒業要件科目の到達目標に達して卒業単位を修得した者に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。併せて、免許・資格要件単位を修得した者に免許・資格を授与する。専門知識、技能の修得とともに、豊かな人間性を身に付けることが求められる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/guidance/history.html）
（概要） 本学の教育目標に基づいてカリキュラムを設定している。学科別に基礎科目と専門科目からなり、基礎科目は豊かな人間形成と専門科目の理解を助け、専門科目は社会の要請に応え得る高度な専門的知識と技術、応用力を修得する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/guidance/history.html）
（概要） 本学の建学の精神「光と塩」に基づいて教育目標を設定している。その目標を理解し、社会の発展に貢献し得る意欲にあふれた人物を受け入れる。併せて、本学が設定する基礎的な学力を有し、専門領域に適性があり、個性豊かで心身ともに健全な人物であること。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku1.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	２人	－					２人
	－	２人	２人	２人	１人	人	７人
	－	４人	３人	４人	人	人	１１人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	３９人	３９人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法： http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku2.pdf

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD 委員会規程を定め、FD 委員会を定期的に開催するとともに FD 研修会を実施し、教員の相互理解と意識向上並びに教育研究活動の充実・向上につなげている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
	１００人	６６人	66.0%	２００人	１４０人	70.0%	―人	０人
	１００人	２８人	28.0%	２００人	８０人	40.0%	―人	０人
合計	２００人	９４人	47.0%	４００人	２２０人	55.0%	―人	０人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
	７１人 (100%)	２人 (2.8%)	６５人 (91.6%)	４人 (5.6%)
	６６人 (100%)	１人 (1.5%)	６１人 (92.4%)	４人 (6.1%)
合計	１３７人 (100%)	３人 (2.2%)	１２６人 (92.0%)	８人 (5.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

【栄養士】日清医療食品（株）、（株）LEOC、株式会社日総、富士産業（株）、保育所ほか

【事務】病院、芦別市ほか　【保育士・保育教諭等】中標津泉保育園、札幌市しせいかん保育園、日の丸保育園、平岸興正保育園、藤ヶ丘保育園、子どもの家保育園、赤平市、遠軽町ほか

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	７９人 (100%)	６８人 (86.1%)	２人 (2.5%)	９人 (22.4%)	０人 (0%)
	７１人 (100%)	６６人 (93.0%)	０人 (0%)	５人 (7.0%)	０人 (0%)
合計	１５０人 (100%)	１３４人 (89.4%)	２人 (1.3%)	１４人 (9.3%)	０人 (0%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

文部科学省、厚生労働省の方針に基づき、本学においてシラバス作成方針を決定。作成方針に則り作成し公表している。

授業計画の作成：公表年の１月～3 月に作成、

授業計画の公表：ホームページ掲載、

冊子「キャンパスガイド・シラバス」を学生、教職員へ配布

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要））

シラバスに記載された成績評価の方法（定期試験、実技試験、レポート、提出物、作品、発表等）を用い、到達目標に示した内容を達成できたか否かを評価方法に示す割合に基づき厳格かつ適正に評価し、学則に示す単位授与の条項に則り、単位を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	食物栄養科	62 単位	有・無	単位
	保育科	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/guidance/institution.html
http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku1.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	食物栄養科	700,000 円	200,000 円	330,000 円	施設費、維持費、実習費
	保育科	700,000 円	200,000 円	340,000 円	施設費、維持費、実習費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

本学独自奨学金の実施や日本学生支援機構の奨学金等を紹介し学生の支援を行っている。

１　光塩学園独自奨学金（ア　特待生　、イ　経済状況の急変、ロ　本学園卒業者子女等）

２　日本学生支援機構奨学金　３札幌市奨学金　　４　保育士修学資金など

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

入学直後に２日間にわたりオリエンテーションを実施し、建学の精神、教育目的、目標等について説明している。また本学独自の AD システム（クラス担任に類似）の教員に大学生活、授業や進路、就職など各種の相談ができ親身に学生を支援している。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

保健室には、養護教諭が常駐し、学生の健康管理に携わっている。

相談室「オアシス」で週１日専門カウンセラーが健康や生活、精神面での悩みなどに対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://tandai.koen.ac.jp/images/disclosure/kyoiku1.pdf

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F201310100417
学校名	光塩学園女子短期大学
設置者名	学校法人　光塩学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		46人	48人	49人
内訳	第Ⅰ区分	24人	28人	
	第Ⅱ区分	15人	12人	
	第Ⅲ区分	―人	―人	
家計急変による支援対象者（年間）				―人
合計（年間）				50人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	―人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	―人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	―人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		―人	―人
計		―人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。